

第8回「しがwebアンケート調査(県内)」の結果について

1. 調査の目的

県政における喫緊の課題や重要事項について、インターネットを活用し適時迅速に他府県民の意識や意向を調査し、速やかに県の方針や県政運営に反映させるための基礎資料とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査対象 滋賀県内在住の満 18 歳以上の個人
- (2) 標本数 500 人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するWEB調査
- (4) 調査期間 令和3年3月9日(火)～ 3月11日(木)
- (5) 調査会社 株式会社クロス・マーケティング

3. 調査項目

テーマ:新型コロナワクチンおよびコロナ関連情報の入手に関する調査

4. 主な調査結果

■ワクチン接種に関する情報提供について

Q1 ワクチン接種にあたって、特にどのような情報が知りたいですか。(複数回答可)

- 1位:接種時期 51.6%
- 2位:副反応が生じた場合の対応 51.4%
- 3位:具体的な副反応の症状 50.4%

「接種時期」、「副反応が生じた場合の対応」、「具体的な副反応の症状」の上位3項目がいずれも5割を超えて拮抗している。

男女別でみると、女性は「具体的な副反応の症状」61.6%が最も多く、次いで「副反応が生じた場合の対応」58.4%、「ワクチンの効果」54.0%であるが、男性は「接種時期」54.0%が最も多く、次いで「副反応が生じた場合の対応」44.4%、「具体的な副反応の症状」39.2%であり、項目ごとの男女差もみられる。

また、年代別でみると、上の年代になるにつれて「接種時期」や「接種会場」を知りたい方が多くなっている。

Q2 これまで滋賀県ホームページでワクチンの情報を見たことがありますか。

- ・見たことがある 13.0%
- ・見たことがない 87.0%

県のホームページでワクチン情報を「見たことがない」が8割を超えている。男女別でみると「見たことがある」は男性が10.0%に対し女性は16.0%とやや多くなっている。

Q3 Q2で「見たことがある」と回答した人にお聞きします。知りたい情報についてどのように感じましたか。

- ・十分な情報が得られた 10.8%
- ・ある程度の情報は得られた 46.2%
- ・情報が少し足りないと感じた 36.9%
- ・情報がかなり足りないと感じた 6.2%

「情報が少し足りないと感じた」と「情報がかなり足りないと感じた」を合わせた43.1%の方は、県のホームページの情報量に不足を感じている。

Q4 Q2で「見たことがある」と回答した人にお聞きします。分かりやすさについてどのように感じましたか。

- ・とても分かりやすかった 7.7%
- ・ある程度分かりやすかった 58.5%
- ・少し分かりにくかった 30.8%
- ・かなり分かりにくかった 3.1%

「少し分かりにくかった」と「かなり分かりにくかった」を合わせた33.9%の方は、県のホームページを分かりにくいと感じている。

Q5 Q2で「見たことがある」と回答した人にお聞きします。見やすさについてどのように感じましたか。

- ・とても見やすかった 7.7%
- ・ある程度見やすかった 56.9%
- ・少し見にくかった 29.2%
- ・かなり見にくかった 6.2%

「少し見にくかった」と「かなり見にくかった」を合わせた35.3%の方は、県のホームページを見にくく感じている。

■コロナ関連情報の入手について

Q6 新型コロナウイルス関連の情報を主にどこから得ていますか。(複数回答可)

- 1位:テレビ 83.8%
- 2位:ニュースサイト、ニュースアプリ 31.2%
- 3位:新聞 30.2%
- 4位:家族や友達、知人から 17.0%
- 5位:県のホームページ 14.2%
- 6位:SNS(Twitter、Facebook、LINE等) 11.8%
- 7位:市町の広報誌(紙) 11.0%
- 8位:市町のホームページ 9.8%

情報の入手先については「テレビ」83.8%が最も多く、次いで「ニュースサイト、ニュースアプリ」31.2%、「新聞」30.2%となっている。

男女別、年代別でみてもどのカテゴリーも「テレビ」が最も多く、その割合も男女間や世代間で大きな差は見られない。「ニュースサイト、ニュースアプリ」も男女間、世代間で大きな差はないが、「新聞」については18~34歳7.5%、35~49歳17.6%、50~64歳36.4%、65歳以上が51.3%となり、年代が上がるにつれて高くなっている。一方、「SNS」は、18~34歳24.3%、35~49歳10.4%、50~64歳10.9%、65歳以上が5.1%となり、年代が下がるにつれて高くなる傾向にあるとみられる。また、「市町の広報誌(紙)」は65歳以上が20.9%となり、その他の年代より高い割合を示している。

Q7 Q6で「SNS」と回答した方にお聞きします。新型コロナウイルス関連の情報を主にどのSNSから得ていますか。(複数回答可)

- 1位:その他のTwitter 30.5%
- 2位:滋賀県公式LINE(新型コロナ対策パーソナルサポート) 28.8%
- 3位:報道機関のSNS(Twitter、Facebook、LINE等) 23.7%
- 4位:国や市町の公式SNS(Twitter、Facebook、LINE等) 18.6%
- 5位:その他のLINE 16.9%

情報を入手するSNSは「その他のTwitter」30.5%が最も多く、次いで「滋賀県公式LINE(新型コロナ対策パーソナルサポート)」28.8%、「報道機関のSNS(Twitter、Facebook、LINE等)」

23.7%となっている。

Q8 新型コロナウイルス関連の情報の入手先として、信頼性が高いと感じるのはどれですか。(複数回答可)

1位:テレビ	57.4%
2位:新聞	27.2%
3位:県のホームページ、公式SNS	24.6%
4位:国のホームページ、公式SNS	22.6%
5位:市町の広報誌(紙)	19.6%
6位:県の広報誌(紙)	19.0%
7位:市町のホームページ、公式SNS	18.6%
8位:ニュースサイト、ニュースアプリ	14.2%

情報の信頼性が高いものは「テレビ」57.4%が最も多く、次いで2位が「新聞」27.2%であった。Q6の情報の入手先として2位であった「ニュースサイト、ニュースアプリ」の信頼性は8位(14.2%)となり、県や国、市町など公共が発信する情報が上位を占めた。

年代別でみると「新聞」については年代が上がるにつれ情報の信頼性が高くなっており、Q6と同様の傾向がみられる。

Q9 滋賀県では「コロナとのつきあい方滋賀プラン」におけるステージを2月26日に「注意ステージ」に引き下げました。このことを何で知りましたか。(複数回答可)

1位:知らなかった	44.2%
2位:テレビ	29.4%
3位:新聞	9.6%
4位:県のホームページ	9.4%
5位:県の公式SNS(Twitter、Facebook、LINE等)	8.2%

「知らなかった」44.2%が最も多く、年代別では、18～34歳 57.0%、35～49歳 46.4%、50～64歳 40.9%、65歳以上が 36.1%となり、若い世代ほど「知らなかった」人が多い。知った方の情報入手媒体別では、「テレビ」29.4%が最も多く、次いで「新聞」9.6%、「県のホームページ」9.4%、「県の公式SNS(Twitter、Facebook、LINE等)」8.2%となっている。

Q10 WEB広告についてお聞きします。あなたは、使用するSNSや検索サイトで表示されるWEB広告をクリックしてさらに詳しい情報を得たことがありますか。広告をクリックしたことがあるものを選んでください。(複数回答可)

1位:広告を見たことがない	41.4%
2位:Yahoo!	39.6%
3位:Google	27.0%
4位:LINE	17.6%
5位:YouTube	15.4%

WEB広告媒体について、「広告を見たことがない」41.4%が最も多かったが、クリックしたことがある媒体のうち、最も多かったものは「Yahoo!」39.6%、次いで「Google」27.0%、「LINE」17.6%、「YouTube」15.4%となっている。男女別でみると、「LINE」は男女間で大きな差はない。「Twitter」「LINE」「YouTube」「Instagram」は、18～34歳が20%前後となり、他の年代に比べて高い。男女別では、男性は「YouTube」、女性は「Instagram」の割合が、それぞれ2倍近く高くなっている。